

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために…

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して  
栃木県議会議員

## さいとう淳一郎街頭演説レター

第 4 号 (再版)

発行日 平成 23 年 8 月 1 日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

### “子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”で、矢板の人口を増やします！

人口が増えることは、まちづくりにとって“成功の証明”であり、その減少は“無策の結果”だと言われています。そのように言われる中で、矢板市の過去10年の人口減少率はJR宇都宮線沿線の県内10市町の中で最大規模の減少幅となっています。また矢板市では、県の平均を上回るスピードで高齢化も進行しています。

『さいとう淳一郎』は矢板生まれの矢板育ちですが、私の同級生の多くは就職や結婚をきっかけにして矢板を離れ、矢板市外に家を建てて子育てしています。しかし私にも1歳になる娘がいますが、うちの娘には矢板で元気に育ってもらい、そしてできれば将来、矢板に戻ってきてほしいと思っています。

そこで『さいとう淳一郎』は、“子供や孫たちが帰ってくるまちづくり”を通じて、矢板市の人口増加に再挑戦していきたくて考えています。

日本は今、人口減少社会に突入しています。そうした中で矢板の人口を増やしていくことは今まで以上に難しくなります。しかし『さいとう淳一郎』は、若さと新しい発想で、“子供や孫たちが帰ってくるまちづくり”に全力投球していきます。

そのためにまず、周辺市町に負けないような地域医療や教育環境を整備するとともに、若者が勤めることができる企業の誘致や企業の引き止めに全力を尽くしていく必要があります。

親の世代から受け継いだふるさと矢板を、より素晴らしいまちにして、そして賑やかなものにして、次の世代にバトンタッチしていきたくてものです。

#### 【写真】

1歳になった長女と。次の世代に素晴らしい矢板を引き継いでいきたいと思っています。

